

まちの情報誌
広報

あさひ

No.389

1

昭和63年



つくるシリーズ
新酒を仕込む

- ★新春を迎えて - P.2
- 年男・年女の方々に聞く
- ★まちの歴史 - P.4
- 戦国時代と朝日町
- ★ふくしの窓 - P.5
- 福祉住民アンケート結果
- ★くらしの情報室 - P.6
- 1月のけんこう
- ★スポーツ - P.8
- 県・町の大会成績等
- ★まちのうごき - P.9
- トピックス・おめでたおくりやみ
- ★あなたの本箱 - P.10
- 本の紹介・新しい本
- ★今月の表紙 - P.10
- 地酒をつくる

謹賀新年

の方々に聞く の男女・年



あけましておめでとうございませう。

今年辰年です。辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。動物図鑑を見ると、辰は竜として載っています。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」で、諺にもしばしば登場しています。

さて辰年、あなたはどんな一年を過ごすのでしょうか。年頭にあたり、年男・年女の方々に抱負を伺いました。

川上奈緒美さん



中三浦町 昭和39年生れ

を済ませたこと。会社を経営している立場として、今年の円高不況は心痛のタネでしたが、なんとか大きなダメージを受けることなく一年を終えることができ、ホッとしています。

年男として今年はどうな年に？
まず健康。仕事は「昇り龍」にあやかって飛躍したいものです。人生80年時代、今働き過ぎかり、悔いのない一年をおくりたい。

町行政に望むこと？

町でやる仕事、民間でできる仕事、町民がやらなければならぬ仕事について、町行政は勇気をもってリーダーシップを発揮してもらいたい。

加藤文子さん



宮崎 昭和3年生れ

あなたにとって62年は？

「眼があいたらつづけるまで座る暇がない」と言い続けて師走になりました。主婦は皆さんなどころでしょうか。

年女として今年はどうな年に？
五十の坂を越えて十年。子供たちもそれぞれに巣立って行って、親の役目もひとくぎりです。これから夫婦二人の熟年時代。二人で心身ともに健康で明るく

あなたにとって62年は？

いろいろな面で忙しい毎日ですが、病氣もせず健康で充実した一年でした。

年女として今年はどうな年に？
公私共に人生の分岐点に差し掛ったような気がしますが、今までどおり明るさと優しさをモットーとしていきたいと思えます。

町行政に望むこと？

テニスコートなど運動施設の建設を進めてほしいと思います。

水島正博さん



境 昭和27年生れ

あなたにとって62年は？

毎年のことではあります。なんとなくなただ忙しく、自分の事や家庭の事をゆとりを持って考えをめぐらすこともなく、自分なりに苦労したつもりではいまいたが、残念ながら実りのある良い結果にはならなかったように思います。

年男として今年はどうな年に？
毎日の忙しさにながされることなく、自分に納得のいく商売のよい日々を過ごし、仕事・家庭・地区の行事にと、実り多い年にしたい。

町行政に望むこと？

暮したいと思えます。今年はその出発点です。
町行政に望むこと？
防火用水のことが、いつも気にかかっています。

高倉吉久さん



三枚橋 昭和3年生れ

あなたにとって62年は？

長年にわたる勤めに別れを告げ、家業に専念するため、60の手習いとして50日間にわたる厳しい合宿研修に参加するなど、修業の年でした。

年男として今年はどうな年に？
ちょうど生まれた干支、戊辰に還る最大の節目の年であり、初心に戻って基礎からじっくりと計画を実行していきたい。

町行政に望むこと？

日本の文化と伝統を確実に次代に引き継いで行くため、より一層の財政・広報面の充実を。

鷺 きくさん



東草野 大正5年生れ

あなたにとって62年は？

結果を聞く、書面を見るだけのお仕着せの行政ではなく、語りあえる行政ができるよう努力してほしい。

水野紀子さん



山崎辻 昭和15年生れ

あなたにとって62年は？

仕事と婦人会活動で忙しい毎日でしたが、多くの方々と交流でき、いろいろな行事にも参加し、私にとってはとてもプラスになった年でした。

年女として今年はどうな年に？
いつも心の笑顔を忘れず健康に注意し、余裕があれば習い事ができる年にしたい。

町行政に望むこと？

観光PRと道路の融雪装置に力を入れてほしい。

菊地正幸さん



草野 昭和15年生れ

あなたにとって62年は？

家族が健康であったこと。米国の少年をホームステイで20日余り預ったこと。亡父の37回忌

つれあいが病気で倒れたり、自分が交通事故にあったりと、あまり良い年ではありませんでした。

健康に注意して、今年是非良い年にしたいと思えます。また、最近始めたゲートボールの腕をみがき、楽しい時間を多く作りたいと思います。

町行政に望むこと？
雨の日でも、老人が集まって楽しめるような施設(例えば、室内ゲートボール場等)を作ってください。

谷 哲治さん



南 保 大正5年生れ

あなたにとって62年は？

2、3年前に老人性白内障の手術をしました。術後、光を与えていただき、最も細かな活字も読むことができます。また、左足の外反跗踏を直していただきました。医療関係者の方々に感謝して毎日を過ごしています。

年男として今年はどうな年に？

希望を持って生きたい。

町行政に望むこと？

恵まれた自然を生かしつつも、工場等の誘致を進め、若い人の働き場のある町にしてください。



朝日町長 魚津龍一

あけましておめでとうございます。昭和63年の新春を迎え、一言二言挨拶申し上げます。

不肖私が町政に携り早や一年半になります。その間、「豊かで活力あふれる郷土」あさひの「実現」を目指し、「町民とともに笑い、町民とともに泣く温かい心の通う町政」をモットーとして、町政が抱える諸問題の解決とその目標の実現を図るための施策の展開に全力を傾注してきました。

そのため昨年は、都市計画街路網の見直しとともに泊桜町線の国鉄立体交差部の工事、克雪生活圏整備事業や魅力あるまちづくり事業、町営住宅の建て替え事業など快適で住みよい居住環境づくりのための諸事業に着手いたしました。また、むらおこし事業の推進とともに棚山ファミリアランドの整備、宮崎・境海岸のPRと整備など産業振興と観光開発事業にも積極的に取り組んでまいりました。そのほ

あけましておめでとうございませう



朝日町議会議員 深松 実

皆様方の深いご理解とご協力の賜ものであり、心から敬意と感謝を申し上げます次第であります。

さて本年は、北陸自動車道朝日上越間の開通が8月に予定されており、道路交通の流れが大きく変化する年であり、朝日町も21世紀への新たな展望を開くため、「希望に満ちた魅力あるふるさと朝日」の実現を目指し、「健康生きがい文化のまち」「快適で住みよいまち」「活力と魅力に満ちたまち」づくりの三大施策を目標に向って着実に推進してまいります。

最近とくに、皆様方の町政に対する要望はますます多様化、高度化しており、厳しい財政環境の中で、いかに対応して行くかが大きな課題の一つであります。議会といたしまして、皆様の期待に応え、町政の発展に格段の努力を続けてまいります。皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝とますますのご活躍を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



福祉に関する

住民アンケート

調査結果

このアンケートは、皆さんが福祉に関して、日ごろどのような



▲婦人民生委員による慰問用くす玉飾り作り

に感じ、どのように思っておられるかを知り、今後の地域福祉を推進するための指針として調査したもので、民生委員を通じて20代、30代、40代、50代、60代と各年代それぞれ56人づつ、計280人にアンケート用紙を配布し、このうち回答をしてくださった方224人(回収率87・1%)分をまとめたものです。

あなたは、今の居住地を住み良いと思いますか？

①大変住み良い 42人(17・2%)

②比較的住み良い 142人(58・2%)

③あまり住みよくない 28人(11・5%)

④大変住みにくい 3人(1・2%)

⑤何ともいえない 29人(11・9%)

▼住みにくい理由としては、交通の便が悪いと答えた人が一番多くありました。

あなたの世帯は、隣り近所との程度の付き合いをしていますか？

①隣人として親しく付き合っている 138人(56・6%)

②義理を欠かない程度 89人(36・5%)

③あいさつをする程度 15人(6・1%)

④あまり付き合っていない 1人(0・4%)

⑤全く付き合っていない 1人(0・4%)

▼④・⑤と答えた人は、仕事が忙しいためだとしています。

あなたにとって地域福祉とは何だと思いますか？

①環境整備や恵まれない人を援助すること 29人(11・9%)

②地域の福祉とは、物や金でなく、よりよい人間関係をつくること 121人(49・6%)

③地域住民が中心となり、福祉問題をとり上げて、地域ぐるみで改善していくこと 88人(36・1%)

④わからない 15人(6・1%)

⑤その他 2人(0・8%)

▼地域福祉とは、よりよい人間関係をつくることと理解している人が多いようです。

あなたは、社会福祉の対象はだれだと思いますか？

①生活保護受給者や施設入所者 3人(5・3%)

②①の他に母子・父子・身体障害者・一人暮らし老人・寝たきり老人 92人(37・7%)

③地域に暮らす人みんな 133人(54・5%)

④わからない 8人(3・3%)

▼社会福祉の対象は一定の人たちだけでなく、みんながよりよ

ありがとうあたたかい志
 ① 朝日町善意銀行(11月11日～12月3日)

♡宮崎の扇谷誠さんから拾得物報労金	12,502円
♡山崎の赤川重次さんから	200,000円
♡朝日町ライオンズクラブさんから歳末たすけあい募金として	70,000円
♡とく名さんから	30,000円

新春に詠む

あさひ短歌会

ダム工事終りて水の満ち満ちる
北又峽の夕暮れに待つ 谷口八重子

かたくなに我を通したる夫ながら
聞き流す吾も共に老いたり 小杉 とみ

しのばせしカメラも出さで人波に
紛れて見おり拙きわが書を 大久保すみ

櫛落葉かさね敷きたる大寺の庭
静もりて風冷え冷えし 高沢 よす

子の支えありてようよう建てあげし
終の家かとも思い限りなく 折谷 年枝

野分け立ちすすきの穂綿追いかける
トンボは友の少なからむか 山本 半治

ようやくに雨あがりたる西空の雲間に
淡く大夕月 坂口 綾子

小春日の畠に出でて土の香のほ
ぬくきかなサララ菜をつむ 坂藤 正義

踊りてもまた踊りても獅子舞は
己れの影をついに踏まざる 谷川 玲子

年貢米に寄りし夢も杳かにて朽
ちし土蔵に薦の葉からむ 大井 昭子

親し気に声かけられて戸惑いぬ

賛助会員加入状況

ただいま募集している町社協の賛助会員に次の方々から申し込みがありました。(敬称略)

藤田隆、前川清二、青木勝義、坂本健治、村上彰、小川静夫、江洲富枝、小林政吉、山崎行雄、上沢敏男、藤田小右エ門、舟川

回想 (2)

町長のひとりごと

執務室から見る山々もとうとう真白になりました。そして平野部も雪が降り積もる季節になりました。山と言えば、置県百年を記念して全県育樹祭が富山県で開催されたのを契機に、育樹に対する認識を一層深め、健全な森林づくりを進めようと、富山県育樹祭が開催されるようになったのですが、この育樹祭を町総面積の88%が山地である我が町で開催してはという話があり、いろいろ考えた結果、引き受けました。過去2回の開催地は、いずれも平地で行われたのですが、我が町では、現在開設中の基幹林道烏帽子山線沿線の町有林地で行うことと決め、10月8日に開催しました。山間林地での開催は初めてとあって、天候

伊之助、住吉啓二、野村久四、住吉寛、住吉清正、坂本正、金森茂、坂本三郎、高松俊夫、永見博、藤田留吉、折谷一己、竹内広作、小塚秀然、小塚みどり、波間三郎助、鹿熊伸一、野口栄久、善万信作、善万隆弘、藤井信栄、大田和夫、本田千代乃、森田慶久、山岡貞雄、森岡富夫、稲垣敏雄、右井重二、道下清、

には大変気をもんだのですが、当日は、前夜からの雨もあがり、みどりの少年団代表による誓いの言葉やコーラスグループの方々による混声合唱が森林にこだまして、式典を一段と盛り上げて頂き、無事終えることができました。協力していただいた方々には本当に感謝しています。

また、昨年の作物を一堂に集めた農林漁業祭も、緑日コーナー、カカシコンクール、料理コンクール、飛び入り参加で行ったもちつき大会など多数の催し物を行い、好評を博しました。開催して本当によかったと思っています。

ところで、新年を迎えて初めての仕事は、郵便局で行われる元旦出発式に参列することですが、配達員の方々のご苦労には心から感謝したいと思います。

さて今年も、豊かで活力あふれる郷土づくり。に邁進したいと思えます。皆さんの暖かい理解とご協力をお願いします。

まちの歴史 ①

戦国時代と朝日町 ①

南北朝間に戦われた騒乱は、延元4年(1339年)後醍醐天皇が吉野でおなくなりになるころには、大勢は京都の足利幕府を中心に動いている状態で、地方には、次第に守護を中心とした地方分権的な動きが出てきた。尊氏が戦費調達のために、特定の国の年貢半分を守護に与える半済が全国に広まり、やがて土地も守護の実権がゆきわたって来ると、守護の力が大きくなると、荘園を次々に侵略し、国内の武士を服従させて、守護による一國完全支配(守護領国)が出来てきて、中には数か国の守護を兼ねる者も出現した。足利義満はこうした守護大名をおさえて、これらの均衡の上に室町幕府の安定をはかった。

室町幕府は、義満時代は隆盛であったが、6代義教が嘉吉元年(1441年)播磨の守護大名赤松満祐によって殺され(嘉吉の乱)て以後は將軍の権威が失墜し、財政の困難もさらにこれに加わってきた。地方においては、庶民の商業活動も漸く盛んとなり、幕政への批判は一揆の型で現われようとしていた。

町政施行30周年を記念して発行した「朝日町誌」も残りわずかとなりました。朝日町を見直す手立てとして、町誌を読みませんか。町誌を購入したい人は、役場総務課秘書広報係へ連絡してください。

(☎83-1100 内線204番)

楯句会

去年今年若人集う山の宿 池原喜美子

翺ぶものの魂の先づ初日差 板沢 茂

ともかくも気負いもなく初仕事 梅沢 素火

明けの星柱に潤ひ恵方路 大浜 秀勝

忘れざる氷見味鮎味雑煮よし 双川 和夫

古の伝え敵か今朝の春 長井 巻雄

一燈に身も引締る初参り 浜田 一男

初旅に伊勢の社の階に 本田千代乃

大雪嶺初茜して野の果てに 松田 宗仁

国の歌唄はず平和な年明るる 藤井とき緒



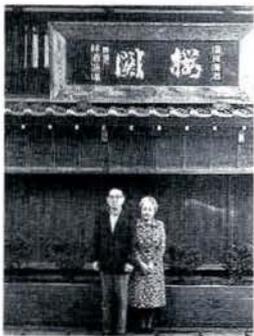
今月の表紙

地酒を醸造

創業200余年。境関所の御用酒造りから始まった林酒造さんでは、蔵人杜氏(くらびととうじ)による新酒の仕込みで、今が最も忙しい時節。米を蒸す機械や蒸し米を仕込みタンクに運ぶエアシューターなど、昔に比べると随分と機械化されたものの、こうじ作りや酒母作りなど肝心なところは今も手造りです。「近代的な機械による酒造りもいいですが、すべて手造りでやるというのは細かなところまで吟味できる良さがあります」そして、全国で地酒が見直されつつある中、「いい酒は、やはりいい環境といい水です。そういう意味では、雪が降って冷え込みが厳しく水のいい富山は酒もいいものができます。しかし、万民に合うものというのは難しいのです。地元で、地元の水で自分とこらしさを強調したものが、本当の意味の地酒だと思います」と若旦那の洋一さん。今では、下新川郡内にて唯一軒の造り酒屋となっ

てしまった林酒造さん。伝統の技と味をいつまでも守り続けてほしいものです。

◀当主の林秀雄さんと奥さんの信子さん



ご寄付をありがとうございました
▶南保小学校教育振興会さんから南保小学校へ、日本語ワードプロセッサー1台(145,000円)

えさせられました。▼福嶋あき江さんは、9歳で入院。進行性筋ジストロフィーで、17歳になったころには自力で車イスも動かせぬ状態になっていました。その福嶋さんが、ハムの免許を取り、英語を学び、アメリカに渡りました。この本は、彼女が短いながらも懸命に生きた人生の記録です。▼酒やテレビに浸る正月休みもよいですが、読書の正月もまたよいのでは。

本の紹介

「88全国スキー場
ゲレンデ案内」
実業之日本社

新年あけましておめでとうございませう。今年も「皆さんの図書館」として活動してまいりませう。どうぞご利用ください。



朝日町立中央図書館

新しい本

(一般書)
ダイアリー

板見陽子

長島解任への筋書き、三原監督ボカリ事件、川上管理野球の誕生など、常勝を宿命づけられた組織の強権と反乱・抗争の戦史。



巨人軍監督の決断

鈴木陽一



いよいよスキーシーズンです。今、プランを練っているあなたにこの一冊。各スキー場を地域ごとに七つのブロックに分け、ゲレンデのコースや施設の規模を詳しく紹介。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 流転・横山大観「海山十題」 | 細野正信 |
| 多くのムシヨ修業 | 安部謙二 |
| 「戦後」―美空ひばりとその時代― | 本田靖春 |
| あの人をどこまで知っていますか | 山口洋子 |
| いま知らないと言ふソンの相統と遺言 | 読売家庭経済新聞編 |
| あつ子の日記 | 植木誠・亜紀子 |
| 日本名言句の辞典 | 小学館 |
| 日本人の「しきたり」ものしり辞典 | 豊島健吾 |
| (小説) | |
| 少年 | ビートたけし |
| 殺人列車への招待 | 西村京太郎 |
| 虹に向って走れ | 赤川次郎 |
| 天の歌―小説都はるみ― | 中上健次 |
| 虚無回廊 | I II 小松左京 |
| 幽鬼の鱈 | 西村寿行 |
| 敦煌 | 井上靖 |
| タロット日美子のJ R推理 | 斎藤栄 |

れんげ読書会
日時 1月13日(水) 午後1時30分
会場 福祉センター茶道室
テキスト 「ひとり旅一人芝居」 渡辺美佐子
1月6日(水)から「龍の本」展を開催します。

昭和62年の賞し出しベスト5

1. 別れぬ理由	渡辺淳一
2. 伊達政宗	山岡荘八
3. サラダ記念日	俵万智
4. 朱夏の女たち	五木寛之
5. ノルウェイの森	村上春樹



▼ハムの合格通知がきた／とても嬉(うれ)しい／言葉では言い表わせない／私の目的の一つを達成／普通の人と同じことができたのだ／やればできる／母ちゃん健康な人と同じことができたよ……▼町づくの発想は、(障害者のために)というのではなく、重度の障害者や病者にとって住みよい町は、健康な人にとっても、不安のない町である。という思想にさせられていきます。▼「二十歳もつと生きたい」(草思社・福嶋あき江著)を読んで、この二つの言葉が今も心に引掛つています。そして、生きるということ、平等ということ、町づくりということ……いろいろな考えさせられました。▼福嶋あき江さんは、9歳で入院。進行性筋ジストロフィーで、17歳になったころには自力で車イスも動かせぬ状態になっていました。その福嶋さんが、ハムの免許を取り、英語を学び、アメリカに渡りました。この本は、彼女が短いながらも懸命に生きた人生の記録です。▼酒やテレビに浸る正月休みもよいですが、読書の正月もまたよいのでは。